

2019年度 学生参画型実学・実践教育、協働連携事業および共同研究実績

協働・連携【教員】	21
協働・連携【学生参画】	36
卒業研究・ゼミ活動（再掲含む）	55
地域プロジェクト演習（再掲含む）	2
デザインコンペ	6
ボランティア活動（再掲含む）	10
復興支援のための活動（再掲含む）	5
その他（再掲含む）	2
合計（のべ）	137件

【協働・連携】※地域関連機関（産官民学）との協働・連携事業・共同研究（教員） (21件)

学科	連携先	テーマ	概要	担当教員
産業情報 学科 (経営情報)	会津若松市立一箕小学校	小学生向けプログラミング教育	2020年の小学校におけるプログラミング教育必修化に向けて、具体的な実施方法や授業モデルの検討・策定をし、また教員のプログラミングスキル向上のための研修や助言を行い、Scratch, ロボットカー, ドローンなどを使った多様なプログラミングの授業の実施を実現した。	中澤真
	会津若松市商工課	中小企業・小規模企業未来会議の運営支援	今年4月に施行された会津若松市中小企業及び小規模企業振興条例の内実化を推進するために、関係機関とともに振興策等について意見交換を行った。	青木孝弘
	山形県長寿社会政策課	生活支援コーディネーター情報交換会の運営支援	山形県ならびに東北大学大学院医学系研究科田口敦子准教授とともに、生活支援コーディネーターが抱える課題の抽出と解決策の検討を山形県内4地区で実施した。	
	会津大学	ICT フレームワークを用いたグローバルブランディング戦略－地方創成・復興のためのデータ解析と構築－	会津若松市を中心に開催されている鶴ヶ城ハーフマラソンをはじめとした3つの新興イベントを対象に、会津大学が連携しているZanrooのツールを用いてSNSでの情報発信の程度や性質についての分析を行った。 *井波教授・青木准教授・横尾准教授・会津大学川口准教授と共同	八木橋彰
産業情報 学科 (デザイン)	会津若松市、あいづまちなかアートプロジェクト実行委員会	「あいづまちなかアートプロジェクト」	総合アドバイザーとして、プロジェクト内の企画・運営に携わり、参加大学との連携や展示計画等に関して調整にあたった。	井波純
	会津若松市教育委員会	第31回会津若松市鶴ヶ城ハーフマラソン大会のポス	会津若松市教育委員会からの依頼で、第31回会津若松市鶴ヶ城ハーフマラソン大会のデザインアドバイザーを務め、主に大会ポスターをデザ	高橋延昌

産業情報 学科 (デザイン)		ターデザイン	インした。	高橋延昌
	会津若松市水道部	「會津水フェスティバル」ポスターデザイン	7月13日に開催された「會津水カフェフェスティバル」開催にあたって告知ポスターをデザインした。	
	会津美里町	会津美里町調査研究助成金	会津美里町調査研究助成事業に採択され、自治体の広報公聴ツールに関する調査を行い、大学連携事業に取り組んでいる。	
	会津若松観光ビューロー	農業用防虫シートを活用した若松城本丸の芝アート	2017年度委託事業としてゼミ学生が地域連携を兼ねて実施した鶴ヶ城(若松城)本丸の芝アートを報告論文にまとめ、査読審査の結果、論文集に掲載された。	
	会津宗教用具協同組合	会津宗教用具協同組合ホームページのメンテナンス方法について	会津宗教用具協同組合のホームページは更新がされていないのが現状である。そのホームページをいかにしてページビューを増やせるか、また、組合員が更新できるように提案した。	
	若松市第3地域包括支援センター	大戸地域の竹活用方法	大戸地域の活性化を目的としたOOTO(大戸)プロジェクトの一環で、大戸地域の竹を用い、その活用方法について大戸地区住民とともに考案し、モノやコトを制作していく活動である。	
食物栄養 学科	喜多方市	令和元年度アグリチャレンジ支援事業	喜多方市長からの依頼によりアグリチャレンジ支援事業(商品開発等支援)に応募あった事業について、重要性、創造性、達成可能性等を評価した。	武井利之
幼児教育 学科	会津若松市国際交流協会	語学ボランティアを対象にしたインバウンド研修会への参加	昨年度から始まった会津若松市と会津若松市国際交流協会との共同事業。インバウンド需要を見込み会津若松市を活性化する目的で、外国人旅行者をサポートする語学ボランティアの実力アップを図る。	若林達司
	会津若松市国際交流協会	会津まつり 外国人旅行者の受け入れ	国際交流会と連携して会津まつりに訪れた外国人に鶴ヶ城を英語で案内を行っている。会津若松市国際交流協会では毎年語学ボランティアが会津まつりにテントを出して参加し、「おもてなし」の気持ちで外国人旅行者への支援を行っている。	
	会津若松国際女性協会	お話し会英語絵本の読み聞かせ	会津若松図書館で毎月行われている子どもへの英語絵本読み聞かせ会において、英語絵本の読み聞かせをネイティブ外国人のサポートを行っている。	
	福島県教育委員会	スクールソーシャルワーカーに対するスーパービジョン実践	福島県教育委員会に属するスクールソーシャルワーカーに対して定期的に指導助言を実施するなど実践の質の向上を目的に活動している。	木村淳也
本宮市教育委員会	スクールソーシャルワーカーに対するスーパービジョン実践	本宮市教育委員会に属するスクールソーシャルワーカーに対して定期的に指導助言を実施するなど実践の質の向上を目的に活動している。		

幼児教育 学科	南会津町教育委員会	スクールソーシャルワーカーに対するスーパービジョン実践	南会津町教育委員会に属するスクールソーシャルワーカーに対して定期的に指導助言を実施するなど実践の質の向上を目的に活動している。	
	社会福祉法人大熊町社会福祉協議会	地域生活基盤の組織化に関わる取組実践	大熊町社会福祉協議会中期ビジョン委員会の委員の一人として関わり、中期ビジョンに関する議論を通じ住民の方々の地域生活基盤の整備に向けた社会福祉協議会の役割、あり方を実践的に検討している。	久保美由紀
	社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会	アイアムサムゼミな一る	会津若松市社会福祉協議会が運営するボランティア学園の講座講師を勤め、障がいのある方と健常者がともになり企画運営を進める。Tシャツのデザイン構成、絵ろうそく祭りのランプシェード等を作成する。	葉山亮三
	会津若松市教育委員会	放課後こども教室	9/9 放課後こども教室の一環として城西小学校にて色水づくりのインスタレーションを実施した。三原色の色水をきっかけに、2色混合、水を加えた濃度変化を加え、多様な色水で空間を彩った。	

【協働・連携(学生参画)】※地域関連機関(産官民学)との協働・連携事業・共同研究で学生が参加しているもの (36件)

学科	連携先	テーマ	概要	担当教員
産業情報 学科 (経営情報)	会津若松市水道部	會津水フェスティバルの企画実施	会津若松市の水道事業に対する市民の意識向上を目的に、地域プロジェクト演習として短大生40名が取組んだ。渡部琢也先生、葉山亮三先生、水尾和雅先生との共同研究。	青木孝弘
	福島県地域振興課	OOTO プロジェクト	ゼミ生を中心に、会津若松市地域づくり課、第3地域包括支援センター、大戸地区が連携して、竹を活用した地域活性化に取り組む。令和元年度福島県大学生の力を活用した集落復興支援事業の採択を受ける。沈得生先生、葉山亮三先生との共同研究。2020.2.7 福島県知事報告、2.8「地域づくりオープンカフェ」で報告。	
	みんなと湊まちづくりネットワーク	第2期地域づくり計画の実施状況の調査	ゼミ2年生5名、1年生3名が、もちそば祭りやたたら製鉄実験などの活動支援を行いながら、同計画の実施プロセスに関与した。	
	北会津地域づくり委員会	地域活性化モデル事業の実施	ゼミ生と地域プロジェクト演習参加学生が、ホテルまつりやフルーツ&フラワーフェスティバルにおいてモデル事業を行い、委員会で活動報告をするとともに、北会津文化祭にてポスター展示を行った。	
	一般社団法人スマートシティ会津・アクセンチュア株式会社	介護デジタルハッカソン in 会津	介護・地域福祉の課題をデジタルデザインを活用して解決を目指す学生ハッカソンにゼミ2年生2名と1年生2名が参加。会津大生や医療専門学校の学生とともにプランを練り、試作品を開発した。	

	会津若松市地域づくり課	会津若松市「地域づくりフェス」	会津若松市内の湊地区、北会津地区、河東地区、大戸地区で短大生が住民と協働した地域づくりの成果をトークライブ等で紹介した。(2020.2.8 於:Aict)	
産業情報 学科 (デザイン)	会津若松市、あいづまちなかアートプロジェクト実行委員会	「あいづまちなかアートプロジェクト」	全国の漆芸教育関連大学との連携による展覧会「うるし その可能性と未来」展において、作品発表を行った。	井波純
	南会津町・田島高校	南会津町探求学習プログラム「田島高等学校発『ふるさと創造提案』事業	2月25日に実施される成果発表会に、ゼミ学生が参加し、ゼミ教員と一緒に審査・講評をおこなった。	高橋延昌
	会津若松市湊地区みんなと湊まちづくりネットワーク	湊地区のたたら文化と砂鉄に関する調査研究事業	「きらめく水のふるさと磐梯」湖美来基金水環境保全活動支援事業の一環としてのプロジェクトである。本学の学生にはこのプロジェクト解説するコンテンツの制作を担当している。(パネルとホームページを提供した)	横尾誠
	会津慶山焼	デジタル技術による陶器の石膏型のデザイン	陶器用型の制作は時間と職人の技術が必要である。この活動では、3Dデジタルによる加工技術を用いることで、複雑な型を短時間で制作することができるか否かを会津慶山焼と連携して検証を行った。	沈得正
食物栄養 学科	喜多方市教育委員会、喜多方市立山都小学校	機能性伝統食材を活用した体脂肪改善の体験活動と健康増進リーダー育成	伝統食材の機能性を活用した学校給食メニューの開発・提供、および学童自らが自身の体脂肪、日常活動量などを測定する体験活動を通じて、体脂肪改善の意義を理解し、その実践法を習得することに対して支援を行った。	左一八
	福島県会津地方振興局	「おたねにんじん(会津人参)料理の学校給食での提供	2020年2月18日～27日、会津地域小学校15校、中学校11校の26校、約8,000人の児童・生徒に、学校給食でおたねにんじん料理を提供、おたねにんじんレジュメを配布した。市内小学校で提供レシピ及びおたねにんじんレジュメについて説明した。	
	チャレンジふくしま県民運動協議会(事務局 福島県企画調整部文化スポーツ局 文化振興課)、会津保健福祉事務所	チャレンジふくしま県民運動「大学と連携した広報・PR事業」	学食・社員食堂・飲食店等の喫食者の健康意識の高揚を目的として、日本テキサス・インスツルメンツ合同会社社会津工場社員食堂の喫食者及び調理施設整備に対応したヘルシーメニューを提案した。提案したメニューは12月18日社員食堂で提供していただき、好評であった。	鈴木秀子
	いきいきふれあい合宿事業実行委員会(福島市)	いきいきふれあい合宿事業ボランティア	合宿事業期間中の子どもたちの生活及び学習支援、子どもとの交流を行う。また、このような活動を通して、学生がコミュニケーション能力や小集団調理の技術を身に付けた。	
	大塩高原 手打ちそば伝承会	玄そば製粉時の残渣部(表層粉)を活用した菓子の作製	そば表層粉は、玄そば製粉時にそばの食味向上のため一部廃棄されることが多いが、栄養価が高く風味が良い。そこで食品ロスの低減を目指すとともに、付加価値の高い表層粉を菓子へ有	小林未希

			効活用する方法を検討し、完成した菓子のレシピを大塩高原手打ちそば伝承会へ提供した。	
食物栄養 学科	チャレンジふくしま県民運動協議会（事務局 福島県企画調整部文化スポーツ局 文化振興課）、会津保健福祉事務所	チャレンジふくしま県民運動「大学と連携した広報・PR事業」	学生食堂や企業の食堂と協働し、ヘルシーメニューの開発・料理提供および喫食者へのアンケート調査を行った。料理提供時には栄養教育資料を配布し、喫食者の健康に対する意識が高まるよう務めた。（鈴木秀子教授との共同受託事業）	小林未希
	会津若松市水道部	會津水フェスティバルのイベント企画運營業務委託（水café）	青木先生が主体となり行われた演習内で、会津若松市水道部との共同事業に参加した。水caféでは主に水道水を使った食品の考案に携わり、学生の案に対して評価や試作を行い、当日の販売まで補助した。	水尾和雄
	チャレンジふくしま県民運動協議会（事務局 福島県企画調整部文化スポーツ局 文化振興課）、会津保健福祉事務所	チャレンジふくしま県民運動「大学と連携した広報・PR事業」	学生食堂や企業の社員食堂等で提供できる対象者に適したヘルシーメニューの開発を行った。実際に学生考案のヘルシーメニューを提供し、喫食者に対してアンケートを実施した。喫食者ならびに調理者の健康意識の向上を図ることができた。	舟木乃里恵
幼児教育 学科	会津若松社会福祉協議会	ボランティア学園 アイムサムゼミナール	学園生徒共に会津まつりに参加、Tシャツを作成した。 学園生徒共に会津ろうそく祭りに参加、灯籠を製作した。	市川和彦
	・地域活動センターフラット ・ボランティア連絡会 他	ボランティアフェスタ	短大体育館にて障がいのある方たちとともに楽しむイベントを企画、運営、実施した。	
	・会津保健福祉事務所 ・会津教育事務所 ・親の会あげまんじゅう	障がい児との遊びの会	障がい児が思い切り体を動かして遊ぶことで体力づくりや感受性・主体性を育んだ。	
	会津若松市水道部	會津水フェスティバル	水に関するオリジナルの紙芝居を作成し、絵本とあわせて、読み聞かせを2回実施した。また、自身の体水分量を理解していただくために体組成測定会も実施した。	渡部琢也
	社会福祉法人啓和会、マストロ・ジェッペット	造形ワークショップ「木ロボくんを作ろう」	5/19、喜多方市エーコードにて造形ワークショップ「木ロボくんを作ろう」を実施した。南会津の玩具メーカー、マストロ・ジェッペットとも連携し、会津産の木片を構成して、ロボット作りを楽しむ木工制作を行った。	葉山亮三
	会津若松市水道部	會津水フェスティバル	7/13、滝沢浄水場で行われた会津水フェスティバルに参加し、造形ワークショップ「色水づくり」を実施した。昨年度の成果をもとに、色水の色相環を用意し、インスタレーションと個人作品を作成した。	

幼児教育 学科	福島県会津赤十字 血液センター	サマーキャンペ ーン	7/21、献血のサマーキャンペーンの一環として、子ども連れの保護者も献血できるようにキッズコーナーを設営し、子どもに向けた造形ワークショップ(シャボン玉づくり、アクアリウムづくり)を実施した。	葉山亮三
	福島県会津自然の家	サマーキャンプ	8/9、会津自然の家にてサマーキャンプの一環として、参加した小学生を対象に色水づくりの造形ワークショップを実施した。三原色の色水から混色を繰り返し、金魚袋に入れ、ロープで吊るしインスタレーションとした。	
	福島県立博物館	読み聞かせ、造形 ワークショップ	8/10 福島県立博物館の年間計画の一環として、地域の子どもたちに向けた読み聞かせを実施した。読み聞かせの後、お化けの絵本を導入とし、凧にお化けを表現する造形ワークショップを行った。	
	会津若松市教育委 員会	放課後こども教 室	9/30 放課後こども教室の一環として城西小学校にて凧づくりの造形ワークショップを実施した。ベースとなるビニール凧を制作した後、お化けの絵本を参考に折り紙を使い、テキストチャーを活かしお化けを表現した。	
	社会福祉法人会津 若松市社会福祉協 議会	ボランティアフ ェスタ	10/27 本学にて実施されたボランティアフェスタに子ども向けのブースを設置し参加した。会津産の積み木を使用した積み木広場と、段ボールに自然物をコラージュして作るお面づくりを実施した。	
	会津保健福祉事務 所	あそびの会	11/23 湯川体育館にて、発達障害幼児、被災した子どもたちを対象としたあそびの会に参加した。事前に制作した滑り台で使用する段ボール遊具と当日作成した段ボールの迷路を提供し、参加者と楽しんだ。	
	(福島県会津自然 の家)	造形ワークショ ップ「秘密基地づ くり」	11/24、10/13 に会津自然の家にて実施を予定していたが台風の影響で中止となった造形ワークショップ「秘密基地づくり」の受講予定者に向けた代替措置として、自然素材と多面体を活用した実践を学内にて実施した。	
	AiAi+Plus	造形ワークショ ップ「凧を作って 飛ばそう！」	12/1、地域交流スペース AiAi+Plus にて簡易に制作できるビニール凧を支持体に、お化けをモチーフとした凧作りを実施。本プログラムは今年度3回目であり、大きさ、素材に改善を加え参加した子ども達は制作と凧あそびを楽しんだ。	
	福島県会津赤十字 血液センター	クリスマスキャン ペーン	12/15、献血のクリスマスキャンペーンの一環として子ども連れの保護者も献血できるようにキッズコーナーを設営し、子どもに向けた造形ワークショップ(クリスマスカードづくり)を実施した。	
	福島県立博物館	絵本の読み聞か せ	福島県立博物館にて地域の子どもたちに向けた読み聞かせを実施した。冬にちなんだもの等季節感に合わせて、幼児に向けた絵本の朗読、手遊	

幼児教育 学科			びを行った。	葉山亮三
	社会福祉法人啓和 会	造形ワークショ ップ「おすしオブ ジェをつくろう」	1/18、喜多方市エーコードにて造形ワークショ ップ「おすしオブジェをつくろう」を実施した。 フェルト、発泡スチロールを主材に、学生が主体 となって企画し、実践した。	
	AiAi+Plus	造形ワークショ ップ「お面で遊ぼ う」	1/26、地域交流スペース AiAi+Plus にて身近な もの写真をコラージュして制作する造形ワーク ショップ「お面で遊ぼう！」を実施した。学生主 体で乳幼児を対象に企画実践しお面を身に付け て楽しんだ。	

【卒業研究・ゼミ活動】

(55件)

学科	テーマ	概要	担当 教員
産業情報 学科 (経営情報)	会津地域のインバウンド 誘致に関するゼミ生のイ ンタビュー	卒業研究ゼミ2(石光ゼミ)においてゼミ生が担当教員石光の 指導の下、会津地域のインバウンド誘致に関して、会津芦ノ牧 温泉大川荘社長渡邊幸嗣氏、会津若松市観光商工部観光課二瓶 亮二氏、福島県観光交流局(前職)今野一宏氏にインタビュー して、「会津地域のインバウンド誘致政策における課題」とい う卒業研究を完成させた。	石光真
	福島県内の企業家実態調 査	福島県内で新たな事業を展開する「ピラティスサロンクラ ラ」「Rbranche」「株式会社ももがある」「一般社団法人グロ ウイングクラウド」「茶房やまだ屋」の主宰者に対してゼミ1 年生がヒアリング調査を行い、「会津の起業家魂その6」とし て発行した。	青木孝弘
	中小企業、ソーシャルビ ジネスの研究	ゼミ2年生9名が各自設定した研究テーマについて、文献調査 や県内企業等へのアンケート、インタビュー調査等を行い考察 した。 1「体験型イベントの成功要因に関する考察」 2「U。Iターンが企業に及ぼす影響—会津若松市を対象に—」 3「日本型エコツーリズムの効果」 4「男性の地域サロン利用を促す要因—会津若松市内の事例か ら—」 5「地域運営組織のリーナな組織再編—福島県会津若松市湊地 区を対象として—」 6「農村都市交流の効果分析—福島県を対象として—」 7「果樹農家の労働生産性向上のための経営戦略」 8「小規模事業者におけるキャッシュレス化の要因分析—理美 容業界を中心に—」 9「地域運営組織に対する経営支援の有効性」	
	棚田オーナー制への参加	会津地域5地区で棚田オーナー制が開催されているが、活発な 活動を継続して行っている地域がある一方で、オーナー数が減 少している地域が出始めていることから、田植えと稲刈りへの 参加を通じて、今後の改善策について考察した。	
	会津花火への参加	2019年11月2日に開催された会津花火に参加し、SNSによる 情報発信とその反応の程度に関する調査を行い、会津若松市の 魅力を効果的・効率的に情報発信を行う方法や、情報発信の内	

		容について考察した。	
産業情報 学科 (デザイン)	あいづまちなかアートプロジェクト (ゼミ活動)	「うるし その可能性と未来」展において、会場設営をはじめ全国の漆芸教育機関より搬送された作品の開梱作業、展示作業を行い、美術展開催に関する実践教育にあたった。	井波純
	真夏の漆塾	夏期休業中に、全国で漆を学ぶ学生が会津にて短期研修を行う「真夏の漆塾」に参加し、学生間の交流をはかりながら、各大学の漆芸教育の特長を学んだ。	
	「梁川町の原風景を地域活性化に活かすー蠣崎波響が描いた梁川八景を起点に」	梁川町の方々に原風景、思い出の場所等を挙げてもらい、蠣崎波響の柳川八景と比較しながら、人々が大切に感じている風景や場所を写真とスケッチで観ていただき、今後の梁川町の復興をイメージしてもらう一助となる展示デザインを行う。	柴崎恭秀
	地域とつくる地場住宅ー地域型住宅の提案および人材活用の研究ー	地域の材料・人材を活用し一般の人に県内の建築業界について知ってもらえるような地域型住宅はどのようなものか研究・提案することを目的とする。また、調査をしていくと、在来軸組工法を用いない木組みの住宅も可能であることが分かった。職人の高齢化などによる人手不足や、完成度のばらつきなどの問題を解決するために新しい工法と伝統技法を組み合わせた地域型住宅の提案ができないか考察する。	
	和紙の可能性を広げるー十文字和紙の調査研究及び新たな製品・空間デザインの提案ー	十文字和紙は、横手市十文字町睦合において、江戸中期に始められたと言われている。最盛期で 50 軒にも及ぶ紙漉き場があり、大正時代になっても十数軒が紙を漉いていた。しかし、現在では十文字和紙は衰退してきており、現在職人は 1 人となっている。そこで、十文字和紙を後世にも残すために、十文字和紙の調査研究を行い、製品・空間のデザインによって新たな和紙の可能性を広げていく。	
	木の遊具を考えるー子ども遊びの空間の調査研究及び遊具提案ー	本研究は、五感を刺激するような、木材の良さを生かした子どもの遊具を製作することを目的とする。また、子どもの成長過程において「五感を刺激する」ことは大切であるということも判明した。このことから、木材はほかの素材に比べて「五感を刺激しやすい素材」であるのではないかと考察し、子どもの五感を刺激する木材の遊具やおもちゃを提案していく。	
	木喰微笑仏のアーカイブと展示空間の研究ー枇杷島十王堂の木喰仏の調査と展示デザインを中心にー	本研究の目的は木喰仏の適切な保存を可能とし、気軽に拝観できる展示空間の提案である。また、点群データを活用したデータ保存利用も検討する。木喰仏は、盗難防止の理由から、鉄格子に囲われているものや、ガラスケースの中に展示されていて、木喰仏本来の姿を見ることができなくなっている。よって盗難対策にも気を配り、安心と安らぎのある空間を提案する。	
	八戸における朝市調査研究及びユニットの提案	八戸朝市の分布の様子、朝市空間の変遷や現在のその実態、そしてユニットの特徴を調査するとともに、現代における朝市が担う役割を考察する。このことにより、朝市やユニットが地域にもたらす将来性を導き出すことを目的とする。	
首都圏の大学生との奥会津スタディツアーおよびシンポジウムとワークショップ	首都圏の大学生 (拓殖大学・専修大学) と会津大学生、ゼミ学生 5 名の 41 名と一緒に奥会津地方や JR 只見線を研究活動している。9 月 12-13 日に只見町でスタディツアー、11 月に都内でシンポジウムを開催し、奥会津地方及び只見線の利活用について学生視点から地域へ提言している。 <b>【2019 年度会津大学競争的研究費採択事業】</b>	高橋延昌	

産業情報 学科 (デザイン)		9月13日 只見町において只見町の方々と大学生が合同ワークショップを開催。	高橋延昌
	パンフレット「河井継之助、最後の絶景と今。」	幕末の長岡藩士・河井継之助は、只見町で終焉を迎えたが、河井継之助と縁がある只見町の観光スポットを紹介するパンフレットを編集制作した。 【只見町との業務委託契約に基づき印刷物作成・配布】	
	パンフレット「ハイキングウォーキングとまわろう！奥会津」	福島県生活環境部只見線再開準備室および吉本クリエイティブエージェンシーとの連携により、お笑い芸人「ハイキングウォーキング」とゼミ学生と一緒に奥会津の観光スポットを紹介しつつ、JR只見線の二次交通を補填するパンフレットを編集制作し、配布した。	
	会津若松市水道 PR キャラクターデザイン	会津若松市水道部からの依頼により、会津若松市の水道 PR キャラクターのデザインを実施した。2019年7月3日に会津若松市長の記者会見で正式発表された。また、キャラクターを活用した広報活動に各種デザイン提案をおこなった。 <a href="https://youtu.be/M8g6_I0_72c">https://youtu.be/M8g6_I0_72c</a>	
	只見線駅文庫	福島県生活環境部只見線再開準備室からの依頼により、JR只見線駅構内に新設された「只見線駅文庫」のプレートデザインをゼミ学生がおこなった。	
	グラフィックデザイン作品展 2019	グラフィックデザイン作品展 2019 は、学生の企画・運営により、8月25～28日に会津若松市生涯学習総合センターでゼミ学生（高橋ゼミと北本ゼミ）がグラフィックデザイン作品展を開催した。テーマは「Canvas」とし、地域に向けて日頃のデザイン成果を発表した。来場者数は約250名。	
	第21回会津絵ろうそくまつり「地上絵」	公益社団法人会津青年会議所からの依頼により第21回会津絵ろうそくまつり地上絵をゼミ学生がデザインおよび設置をおこなった。	
	ランチカード「Ai-lunch」デザインおよび情報提供	会津若松市の ICT オフィス「AiCT」において、ビル入居者および観光客に周辺の飲食店情報を提供する「Ai-lunch」について、企画から取材や編集制作・配布までゼミ学生がおこなった。また、情報提供システム「LCT」は会津大学コンピュータ理工学部の学生との連携で実現した。	
	地産地消キャラクター予備審査	9月30日、会津若松市農政課より依頼され、地産地消キャラクターの予備審査をゼミ学生1年生4名が行った。	
	定期発行誌の表紙イラスト（計12回）	地元ミニコミ誌より依頼され、定期発行誌の表紙イラストをゼミ学生が担当した。2019年度は計12か月分を実施（2019年4月から2020年3月まで）。	
湯野上温泉観光協会協働プロジェクト	湯野上温泉観光協会と協働して、観光客の低迷している現状から、観光客の増加を目指した施策のアイデアや提案を行っていく。主に SNS や特集用のホームページを活用したデジタルコンテンツを提案した。	横尾誠	
湊町たたらプロジェクト	会津若松市湊地区で11月に実施するたたら製鉄の操業に際し、横尾ゼミとして操業に協力し、当日の作業と実施の様態を記録した。		
新しい陶器のカタチ	福島県伝統的工芸品指定・会津慶山焼と連携し、新しい陶器のカタチの提案を実施している。具体的には、本学ではデジタル技法による陶器のカタチをデザインし、慶山焼の職人とともに陶器を制作していく取り組みである。	沈得正	

産業情報 学科 (デザイン)	中ノ沢こけしへの愛着を生み出すデザイン	猪苗代町中ノ沢温泉発祥の中ノ沢こけしを発信するためのロゴやポスター、パンフレット、ハンコなどを制作。	北本雅久
	浅舞絞りを蘇らせるデザイン	秋田県横手市に伝わる浅舞絞りを地域住民に認知させるために24点ののぼりを制作。	
	鬼クルマの普及を促すグラフィックツール	会津クルマプロジェクト協議会の活動を広めるためのグラフィックツールとして、レジャーシート、Tシャツ、トートバッグ、キャップなどのデザインを提案。	
	白河高原清流豚の美味しさを広めるためのデザイン	白河市の養豚精肉店が飼育・販売する「白河高原清流豚」を広めるためのロゴやポスター、商品ラベルを提案。	
食物栄養 学科	会津地域農産物の機能性成分の探索	会津地域農産物に含まれている機能性成分、特に滋養強壮・体を温める成分の調査研究を行い、学生が地域で生産される農産物に対する興味をより広げる機会を得た。機能性成分を有効に使った学校給食レシピを考案した。	左一八
	食育普及活動 あいづ健康チャレンジ事業2019 in 会津医療センター及び病院祭	10月5日(土) 会津医療センター附属病院で開催された「あいづ健康チャレンジ事業 2019 in 会津医療センター及び病院祭」において食育ブースを出展し、参加者が食と健康の関心を喚起することを目的として、減塩に関する展示、クイズラリー、食育ゲームを通じた食育普及活動を行った。	鈴木秀子
	食育普及活動 チャレンジふくしま県民フェスタ	10月19日(土)～20日(日) ビッグパレットふくしまで開催された「チャレンジふくしま県民フェスタ」において食育ブースを出展し、参加者が食と健康の関心を喚起することを目的として、朝食欠食や減塩に関する展示、クイズラリー、食育ゲームを通じた食育普及活動を行った。	
	【再掲】 チャレンジふくしま県民運動「大学と連携した広報PR事業」	学食・社員食堂・飲食店等の喫食者の健康意識の高揚を目的として、日本テキサス・インスツルメンツ合同会社会津工場社員食堂の喫食者及び調理施設整備に対応したヘルシーメニューを提案した。提案したメニューは12月18日社員食堂で提供していただき、好評であった。	
	渋柿はなぜ甘くなるのか?	渋柿が甘くなる理由について、様々なアルコールを用いて渋抜きを行い、その差について研究を行った。また、渋の元となるタンニンの性質の変化や、渋を利用した会津漆器などについても研究を行った。	漆谷博志
	馬肉を使ったレシピ開発	馬肉を使ったレシピを考案し、実際に調理・試作を行い検討した。その結果、馬のバラ肉を用いた馬肉バーガーを紅翔祭の模擬店にて発売し、好評を得た。	
	インスタントラーメンオリジナル料理コンテストへの参加	一般財団法人日本即席食品工業協会主催の同コンテストに応募するレシピを考案し、応募した。	
	福島県健康長寿フェスティバル 2019in 会津若松への出典	会津若松市からの依頼を受けて、体組成計(Inbody470)による体組成測定とフードモデルとICタグを組み合わせた食育SATシステムを使用した食事診断を一般の対象者に実施した。学生は各機器の操作や結果を基にした説明、栄養指導を行った。	加藤亮
	会津産米粉の普及活動	会津若松市米粉利用推進連絡協議会主催の「第5回米粉料理コンテスト」に応募した(米粉のカヌレが二次審査に進んだ)。学生の米粉に対する興味・関心が高まるとともに、他の創意工夫作品から多くの学びがあった。	小林未希
【再掲】 玄そば製粉時の残渣部	そば表層粉は、玄そば製粉時にそばの食味向上のため一部廃棄されることが多いが、栄養価が高く風味が良い。そこで食品ロ		

食物栄養 学科	(表層粉) を活用した菓子の作製	スの低減を目指すとともに、付加価値の高い表層粉を菓子へ有効活用する方法を検討し、完成した菓子のレシピを大塩高原手打ちそば伝承会へ提供した。	小林未希
	【再掲】 チャレンジふくしま県民運動「大学と連携した広報PR事業」	会津大学学生食堂と協働し、ヘルシーメニューレシピの開発・料理提供および喫食者へのアンケート調査を行った。料理提供時には栄養教育資料を配布し、喫食者の健康に対する意識が高まるよう務めた。	
幼児教育 学科	ラーメン屋さんごっこ	2年生のゼミ活動は、リアル似のラーメン屋さんごっこの遊具づくりとなる。ラーメン、餃子のほかに調理道具も手作りのものになる。若松保育協会若松第一保育園で実施して、ゼミ生は幼児の想像力の幅広さに驚き、保育者のやりがいを痛感したと報告された。	郭小蘭
	タオルハンカチでみたて遊び	1年生後期のゼミ活動で、2歳児向けのタオルハンカチを素材とする手作り遊具を作り、若松保育協会若松第二保育園で実践した。学生の子どもの発達の様子に対する理解が具体的に変わったと報告された。	
	ばんびクラブ「クリスマス会」	会津若松中央保育所主催の未就園児、保護者対象の「ばんびクラブ」のクリスマス会を企画・出演を行う。場所は一箕町ふれあいハウスにて実施した。	河原田潤
	中央保育所との交流会	ゼミで企画・制作したペープサート、合奏等を会津若松中央保育所で披露し、子どもたちとの交流を行う。	
	台風19号20号被害地域における災害ボランティア	ソーシャルワーク論を履修している学生のうち、参加希望者とともに郡山市での災害ボランティアに参加し、被災住宅の片づけを行う。	木村淳也
	世界の子どもにワクチンを、ペットボトルキャップ回収活動	幼児教育基礎演習Ⅱにおいて、ペットボトルキャップの回収を行う。ペットボトルキャップは、学生とともに荒川産業さまに持ち込み、子どもワクチン支援に協力した。	
	赤い羽根共同募金活動	幼児教育基礎演習Ⅱにおいて、赤い羽根共同募金活動を行う。募金活動にかかる用具等は会津若松市社会福祉協議会さまのご協力により借用し、集められた募金は、会津若松市共同募金会に届けた。	
	社会的養護に関する実践教育の実施	家庭養育の場から社会的養護の場へ移行する過程について、児童相談所や児童養護施設、少年鑑別所、認可外保育所、家庭裁判所等を見学し理解を深めた。	
	実践から学ぶ①	5月に認定こども園榎の木に出向き、制作した手袋シアター、パネルシアターを3～5歳児の子ども達の前で実演した。	吉田亜矢
	実践から学ぶ②	10月に認定こども園子どもの森に出向き、制作した手袋シアター、パネルシアターを3歳児・4歳児の子ども達の前で実演した。	
幼稚園における教育活動の見学	幼児教育基礎演習Ⅱにおいて、大熊幼稚園及び河東第三幼稚園に出向き、実際に実施されている教育活動を見学した。10月23日の午前中に実施した。	渡部琢也	
保育所における保育活動の見学	幼児教育基礎演習Ⅱにおいて、三島保育所に出向き、実際に実施されている保育活動を見学した。11月27日の午前中に実施した。		
会津若松市立図書館における読み聞かせ活動(おはなしのもり)	月2回程度の割合で、会津若松市立図書館内のこども図書館において読み聞かせをしている。対象は0歳～就学前の乳幼児である。読み聞かせの活動を記録し、指導案作成や教材研究のための学習教材としている。	櫻井直輝	

幼児教育 学科	会津学鳳高等学校との合同ゼミ	会津学鳳高等学校の総合学習の一環として行われている幼児教育ゼミに対して、幼児に対する読み聞かせのための指導案を作成し提供した。また、高校生のための視聴覚教材として学生の読み聞かせをビデオで記録し You Tube を通じて配信した。	櫻井直輝
------------	----------------	--	------

【地域プロジェクト演習】

(2件)

学科	テーマ	概要	担当 教員
産業情報 学科 (経営情報)	【再掲】 會津水フェスティバル の企画実施	会津若松市の水道事業に対する市民の意識向上を目的に、地域プロジェクト演習として短大生 40 名が取組んだ。渡部琢也先生、葉山亮三先生、水尾和雅先生との共同研究。	青木孝弘
産業情報 学科 (デザイン)	【再掲】 自治体の広報広聴ツ ール	産業情報学科「地域プロジェクト演習」(高橋担当)において、福島県内全ての市町村を対象とした「自治体の広報広聴ツールの調査」を行った。2020年2月に成果発表をおこない、調査結果をまとめた報告書は調査に協力してくださった全自治体に送付した。 【令和2年度会津美里町調査研究助成金採択】	高橋延昌

【デザインコンペ】

(6件)

学科	テーマ	概要	担当 教員
産業情報 学科 (デザイン)	福島県総合美術展覧会	ゼミ2年生6名が公募展に応募し、全員が入選を果たし、うち1名は青少年美術奨励賞を受賞した。	井波純
	ラジオ番組表表紙デザイン	株式会社エフエム会津からの依頼で本学学生対象に行われたデザインコンペ。学生がラジオ番組表表紙のデザインを制作し応募するもの。審査の結果、デザイン情報コース2年・保坂葉月の作品が選ばれ、2019年度春・夏・秋・冬の表紙を担当した。	高橋延昌
	鶴ヶ城ハーフマラソン大会記念Tシャツデザイン	スポーツ用品店からの依頼により「第31回会津若松市鶴ヶ城ハーフマラソン大会」記念Tシャツデザインをコンペ形式で実施し、デザイン情報コース1年・佐藤ことみと羽賀瑠奈の作品がデザイン採用され、販売された。	
	会津IT秋フォーラムのポスターデザイン	会津大学が主催する「会津IT秋フォーラム2019」のポスターデザインを短期大学部の学生に対しコンペ形式での応募を依頼された。審査の結果、デザイン情報コース1年・内川夢の作品が選ばれた。	
	會津芦ノ牧温泉大川荘「お土産手提げ袋」デザイン	會津芦ノ牧温泉大川荘からの依頼により、「お土産用手提げ袋」デザインをコンペ形式で実施し、デザイン情報コース2年・佐藤菜々の作品が採用された。採用されたデザインはお土産用手提げ袋として実際に使用された。	
	Canva テンプレートデザイン	KDDI Web Communications からの依頼により、デザインツール「Canva」テンプレートをコンペ形式で実施し、デザイン情報コース1年・秋保このみと内川夢の作品が採用された。	

## 【ボランティア活動】

(10件)

学科	テーマ	概要	担当 教員
産業情報 学科 (経営情報)	会津若松市学生 PR 部 「AiZ' S モーション」	会津若松市広聴課が主催する同事業に、ゼミ生2年生2名が参加。通年で会津の魅力を SNS 等を通じて発信した。	青木孝弘
産業情報 学科 (デザイン)	漆塗りディジュリドウ制作	オーストラリア大規模森林火災支援のため、オーストラリア先住民の楽器に漆塗り螺鈿蒔絵装飾を施しパース日本祭りで紹介され両国の文化交流ボランティア活動を行った。	井波純
	森林火災終息支援フラッグの制作	オーストラリア森林火災終息支援のため、産業情報学科学生による寄せ書きフラッグを作成し、パース日本人会を通し被災地に送られた。	
食物栄養 学科	【再掲】 いきいきふれあい合宿事業ボランティア	いきいきふれあい合宿事業実行委員会（福島市）と連携し、合宿事業期間中の子どもたちの生活及び学習支援、子どもとの交流を行った。また、このような活動を通して、学生がコミュニケーション能力や小集団調理の技術を身に付けた。	鈴木秀子
	食品衛生月間親子料理教室	福島県会津保健福祉事務所主催の令和元年度食品衛生月間事業、親子料理教室へ調理補助のボランティアスタッフとして学生5名を募り参加した。手洗い指導の後、調理、試食を実施した。	阿部桂子 舟木乃里恵
幼児教育 学科	ダンス療育（はるか）	放課後デイサービスを利用しているこどもたちとダンス、ヨガを楽しんだ。	市川和彦
	ダンス療育（たんぼぼ）	放課後デイサービスを利用しているこどもたちとダンス、ヨガを楽しんだ。	
	ダンス療育（ゆきわり荘）	障がい者入所施設を利用している方たちとダンス、ヨガを楽しんだ。	
	音楽活動（あぶくま更生園）	障がい者施設を訪問し利用している方たちと歌を歌い、ダンスを踊った。	
幼児教育 学科	【再掲】 会津若松市立図書館における読み聞かせ活動（おはなしのもり）	月2回程度の割合で、会津若松市立図書館内のこども図書館において読み聞かせをしている。対象は0歳～就学前の乳幼児である。読み聞かせの活動を記録し、指導案作成や教材研究のための学習教材としている。	櫻井直輝

## 【復興支援のための活動】

(5件)

学科	テーマ	概要	担当 教員
幼児教育 学科	双葉町社会福祉協議会における復興支援	双葉町社会福祉協議会において、被災住民支援に携わる職員の支援力向上に向けたスーパービジョンを実施した。	木村淳也
	福島県社会福祉協議会における復興支援	福島県内市町村社会福祉協議会において、避難者支援コーディネーター等に従事する職員の支援力向上に向けたスーパービジョンを実施した。	
	頑晴ろう！大熊っ子！大会	大熊町の幼稚園、小学校、中学校合同で、町民も一緒に参加する運動会の運営を、会津学生ボランティア連絡会を中心に手伝った。運動会の実施日は9月14日であった。	渡部琢也

幼児教育 学科	教育連携事業「くりかえす形」	10/1 大熊小学校にて、洗濯バサミを使用したインスタレーション「くりかえすかたち」を実施した。4000個の洗濯バサミを使用して、自由に構成遊びを行い、個人制作から共同制作へと発展させ、ブラックライトを使用したライティングの変化を楽しんだ。	葉山亮三
	【再掲】 あそびの会	11/23 湯川体育館にて、発達障害幼児、被災した子どもたちを対象としたあそびの会に参加した。事前に制作した滑り台で使用する段ボール遊具と当日作成した段ボールの迷路を提供し、参加者と楽しんだ。	

【その他】

(2件)

学科	テーマ	概要	担当 教員
産業情報 学科 (デザイン)	第5回ふくしま産業賞 (入賞)	ふくしま産業賞(学生部門)は、県内の大学、高専、短大、高校、専門学校等を対象に、地域資源の活用、震災・津波・原発事故からの復興への貢献、地元企業・住民との連携、他地域との交流促進などを総合的に判断して表彰するものであるが、第三者による厳正な審査の結果、前回第4回に続き高橋ゼミは(今回は「奥会津プロジェクトチーム」事務局として)第5回も入賞した。表彰式は2020年2月7日に開催された。	高橋延昌
幼児教育 学科	【再掲】 会津若松市立図書館における読み聞かせ活動(おはなしのもり)	月2回程度の割合で、会津若松市立図書館内のこども図書館において読み聞かせをしている。対象は0歳～就学前の乳幼児である。読み聞かせの活動を記録し、指導案作成や教材研究のための学習教材としている。	櫻井直輝